

地震編

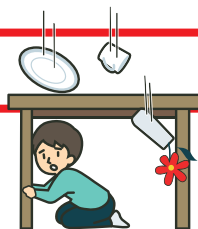
地震が起きたら

地震発生

緊急地震速報が出た！強い揺れを感じた！

まずは身を守る！

頑丈なテーブルの下や家具の無いスペースで転倒物や落下物から身を守る。テーブルなどの脚は両手でしっかりと握っておく。



発生直後

最初の大きな揺れがおさまった

火元を確認！

- ・火を使っている場合は、強い揺れがおさまってから火の始末をする。
- ・出火していたら消火器などで初期消火をする。
- ・コンセントを抜く。

出口を確保する！

- ・いつでも避難できるように部屋の窓や玄関のドアを開ける。



けがに注意！

- ・屋内では、倒れた家具や落下物、割れたガラス片などに注意する。
- ・スリッパや靴を履く。
- ・あわてて外に飛び出すと、割れた窓ガラスや看板などが落下してくる危険がある。
- ・屋外では、倒れるおそれのあるブロック塀や自動販売機などに近づかない。

その後は

状況を正しく認識し、適切に行動する

危険が迫れば避難する

- ・家屋が倒壊するおそれがあったり、大規模火災の危険が迫ったりした場合は避難所などに避難する。
- ・土砂災害のおそれがある場合は、より安全な場所へ避難する。
- ・避難が必要になったときは、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めて避難する。

正しい情報を把握する

- ・ラジオやテレビ、防災行政機関などから正しい情報を集める。
- ・災害時にはデマやうわさなど不確実な情報が出回りやすいので信頼できる情報を入手する。



わが家の安全を確認する

- ・一緒にいる家族にけがはないか、自宅内に危険はないか確認する。→**危険なら避難所へ急いで避難！**

避難するとき

- ・家族への連絡メモ
- ・ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る
- ・火の元の確認と消火

隣近所の安全を確認する

- ・高齢者などの要配慮者世帯には積極的に声をかける。
- ・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになった人などがいたら、協力して救出・救護する。
- ・近隣で出火していたら協力して初期消火する。

停電への備え

平成30年9月6日北海道胆振東部地震では、北海道の広範囲で数日にわたり大規模停電（ブラックアウト）が発生しました。停電は日常生活に様々な支障をきたしますので、日頃から備えておくことが大切です。

カセットコンロや発電機を準備しましょう

IH調理機や給湯・暖房設備は使用できません。カセットコンロやポータブルストーブ・発電機などを準備しましょう。（特にオール電化の家庭は注意しましょう）



モバイルバッテリーを準備しましょう

携帯電話やスマートフォンは、家族との連絡、各種情報の入手に有効です。



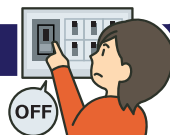
水を確保しましょう

断水し、トイレも流せなくなります。飲料水の準備や風呂に水をためるなど、水を確保しましょう。（マンション等、高層階の方は注意しましょう）



車のガソリンは多めにしておきましょう

車が使えると、暖をとったり、テレビ・ラジオの視聴やシガーソケットからの充電が可能です。日頃からガソリンは多めを心がけましょう。



停電復旧時の火災に注意しましょう

電源復旧時に電気が通ると火災のおそれがあります。停電時はブレーカーの電源を切り、復旧後に電源を入れるようにしましょう。



停電時に役立つもの

- ・乾電池
- ・ガスボンベ
- ・ランタンなどのキャンプ用品
- ・暖をとるもの
アルミ製ブランケット、毛布、ガスボンベ等で使える電源不要のポータブルストーブ

